

第26回事業者活動部会では、ごみ量の実績やアンケート調査結果などから、現状の分析を行いました。そのうえで、令和2年度の「かつしかルール」、「ごみ減量の日」、「ごみ減量キャンペーン」、「マイバッグの利用促進」の各取組内容について検討を行いました。

今回の検討結果については2月18日に開催される推進協議会で提案していくことが確認されました。

1 葛飾区のごみ処理の現状

(1) 葛飾区のごみ減量目標値と実績

葛飾区では、令和2年度までのごみの減量目標として、「家庭ごみ」「事業系ごみ」「ごみと資源の総量」の3つの項目に達成すべき目標値を設けて計画を策定しています。

【12月末までの家庭ごみ量の比較】

	H30.12 末 までの実績	R01.12 末 までの実績	増減量	前年比
燃やすごみ	58,760 t	58,703 t	-57 t	99.9%
燃やさないごみ	2,568 t	2,410 t	-158 t	93.8%
粗大ごみ	2,204 t	2,401 t	+197 t	108.9%
計	63,532 t	63,514 t	-18 t	99.9%

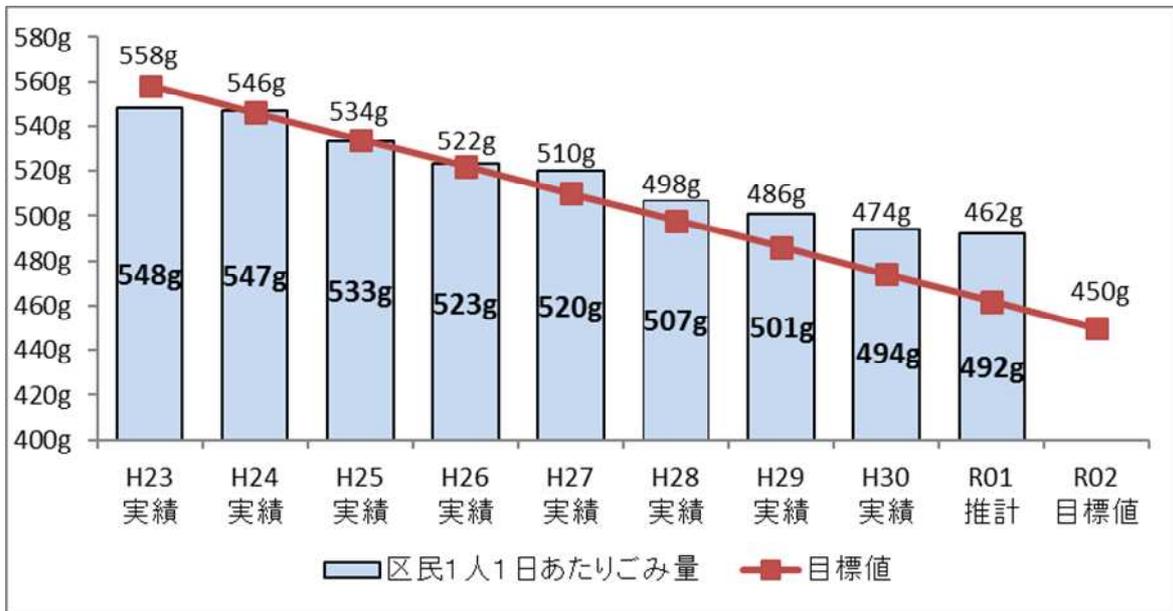
12月末現在のごみ量を比較すると、平成30年度に比べ令和元年度は、18t(0.1%)の減量となります。

○目標1

令和2年度までに区民1人1日あたりの家庭ごみ量を平成21年度比で約20%(約120g)削減します。

区民1人1日あたりの家庭ごみ量は減少傾向です。令和元年度は目標値の462gには届かなかったものの、前年の平成30年度から2g減少し、492gとなる見込みです。

【区民1人1日あたりの家庭ごみ量】



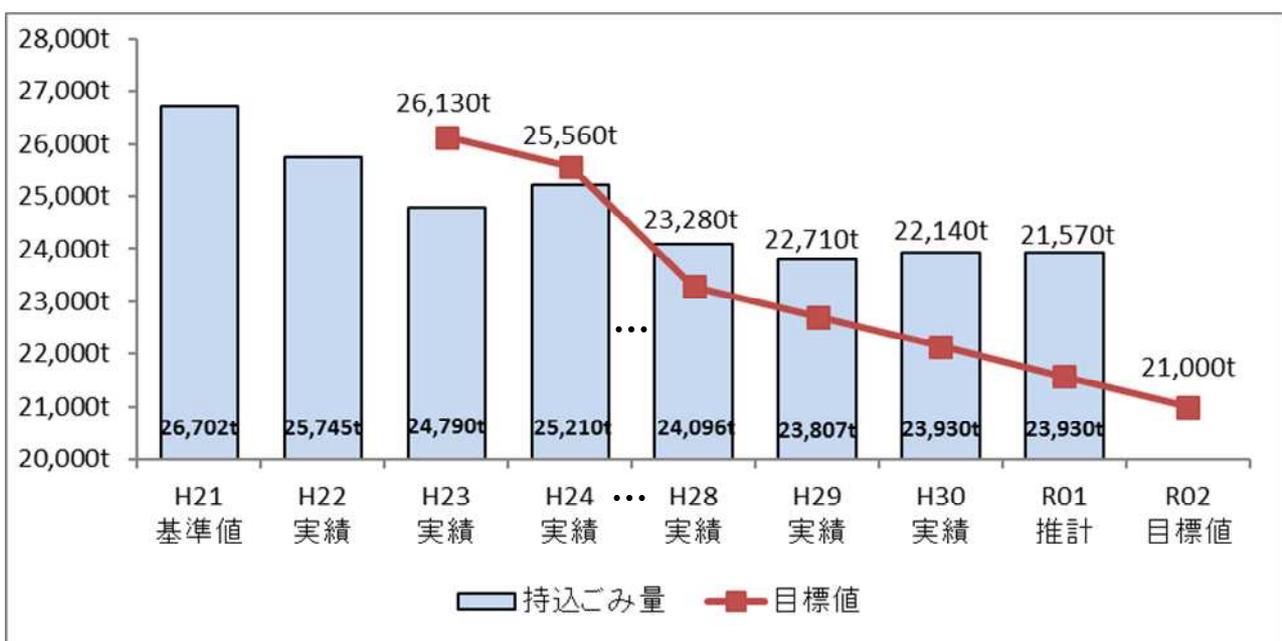
○目標2

令和2年度までに事業系ごみの年間総排出量を平成21年度比で約20%(5,700t)削減します。

令和元年度の事業系ごみ量は未確定であるため、昨年度と同量としています。

令和元年度の実績は、目標値を上回っております。

【事業系ごみ年間総排出量】

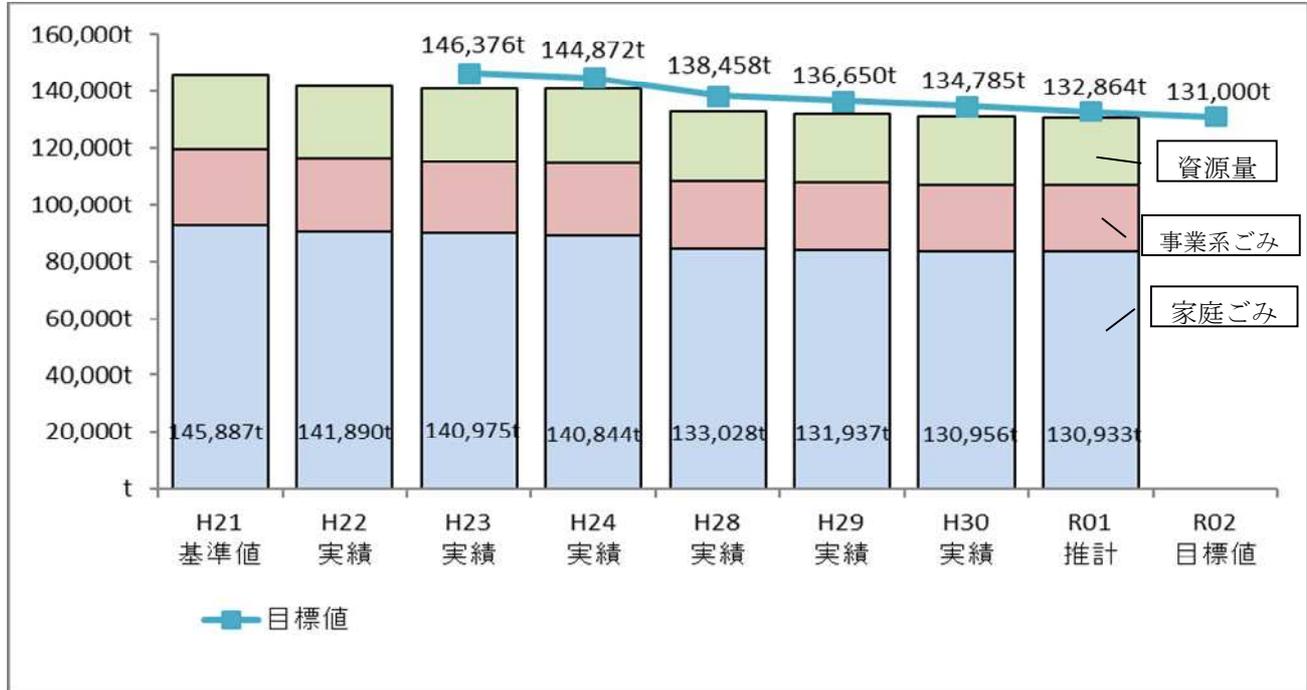


○目標3

令和2年度までにごみと資源の年間総排出量を平成21年度比で約10%(15,000t)削減します。

令和元年度の事業系ごみ量と資源量は未確定であるため、昨年度と同量としています。

【ごみと資源の年間排出量】

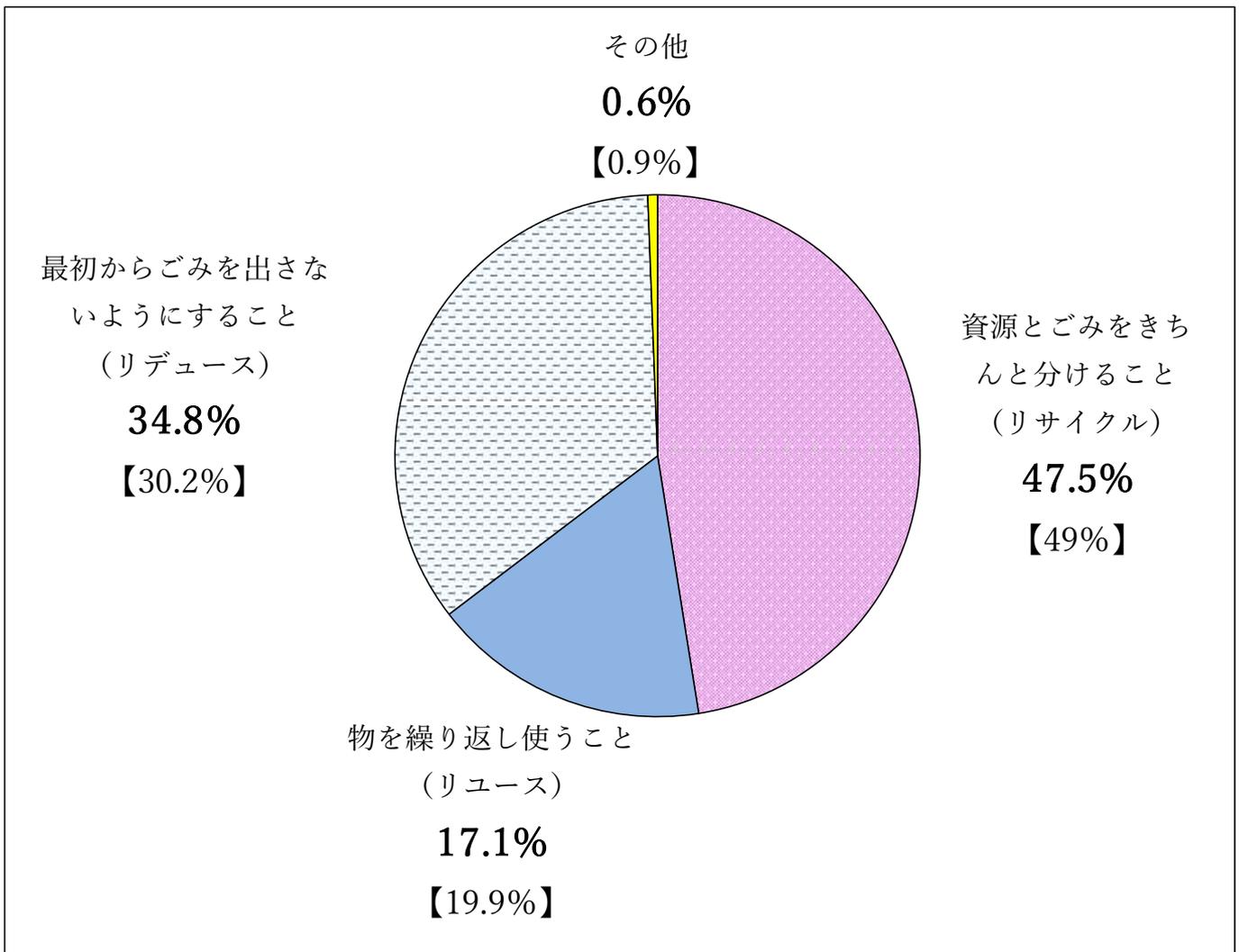


(2) ごみ減量キャンペーンで実施したアンケート調査結果について

例年かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会が実施している「ごみ減量キャンペーン」での街頭アンケート調査を令和元年度も実施いたしました。葛飾区内の商店街やイベント会場など15カ所で2,517名の方からご回答いただきました。

回答の結果は以下のとおりです。

問1 ごみを減らすために一番大切なことはどれだと思いますか。
あてはまる番号に1つ○をつけてください。【有効回答数（複数回答あり）3,019】



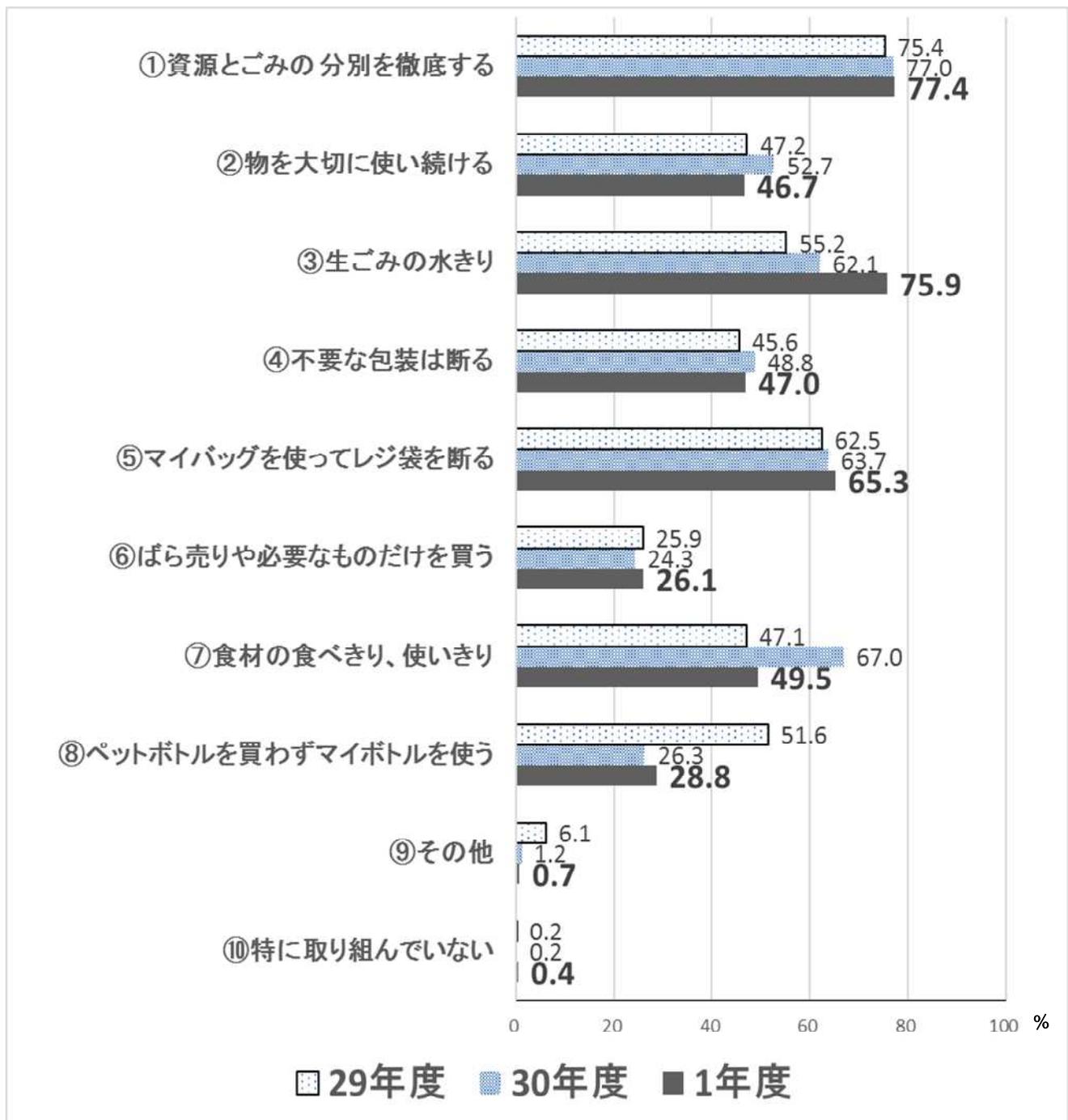
【】内は平成30年度の実績

リサイクルが約5割、リユースが約2割、リデュースが約3割と、傾向は例年と同じである。わずかではあるが、リデュースの割合が増加し、リユース、リサイクルの割合が減少している。

今後も引き続き、ごみの発生抑制（リデュース）を最優先にごみ減量の推進を行っていくことが大切である。

問2 ごみを減らすために日頃から何か取り組んでいますか。

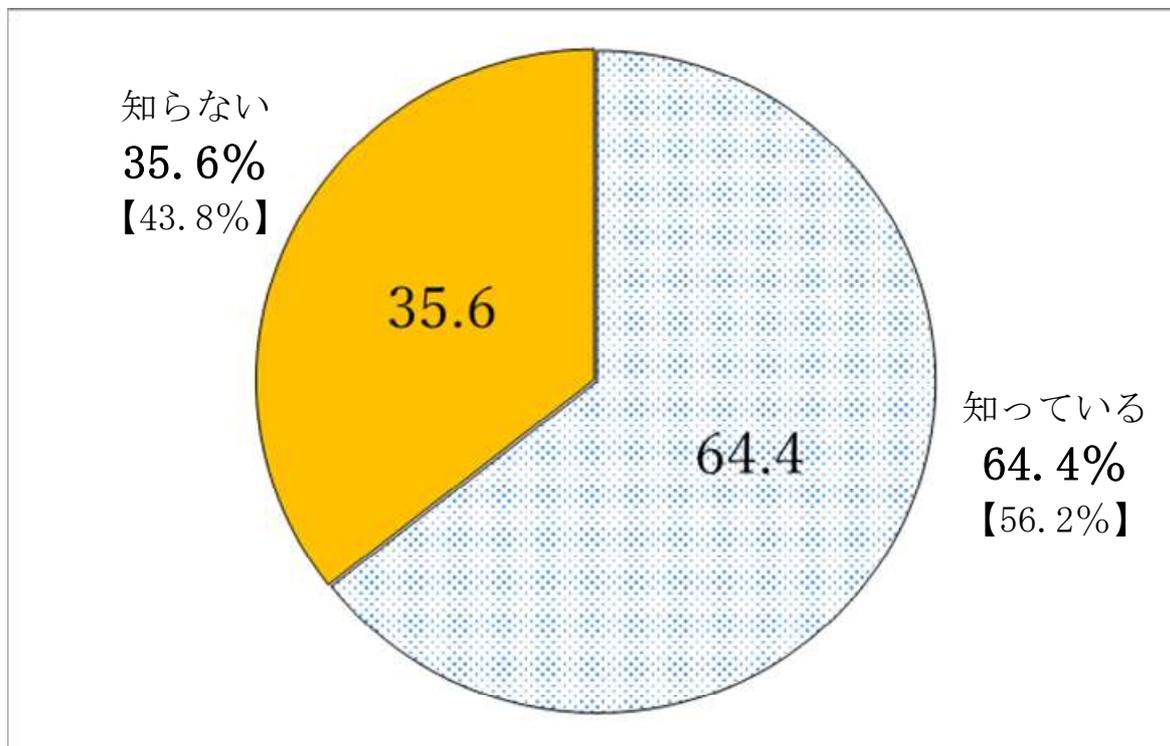
あてはまるものすべてに○をつけてください。【有効回答数（複数回答あり）10,519】



ごみを減らすために日頃から取り組んでいることは、令和元年度も過去2年と同様に「①資源とごみの分別」、「③生ごみの水きり」の順に多く、一方で特に取り組みを行っていない方はほとんどいない。

多くの項目で、取り組んでいると答えた方が増加していたが、「②物を大切に使い続ける」や「④不要な包装は断る」等が減少していた。

問3 かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、「ごみを減らすためにこれだけは実践しましょう」という取り組みを「かつしかルール」として呼び掛けています。「かつしかルール」をご存じですか。【有効回答数 2,344】

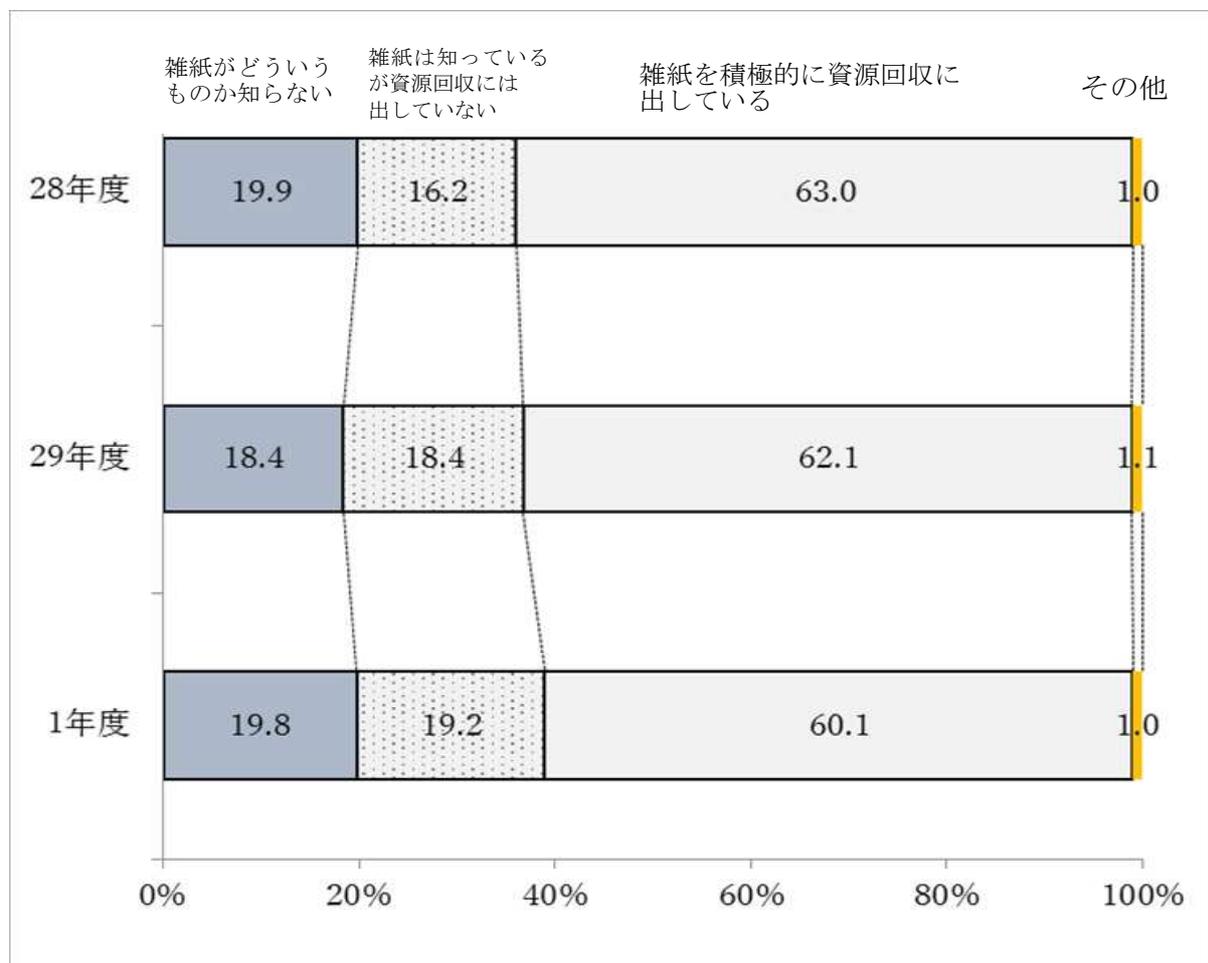


【】内は平成 30 年度の実績

今年度は、6割以上の方が「かつしかルール」を知っていると回答し、昨年度より上回る結果になった。

年齢別では、50代以上の方が7割以上「知っている」と回答している一方、30代以下は約6割が「知らない」という結果となった。昨年度と比較すると、全体的に「知っている」方の割合が増加してはいるが、30代以下へ向けた「かつしかルール」のPRが課題である。

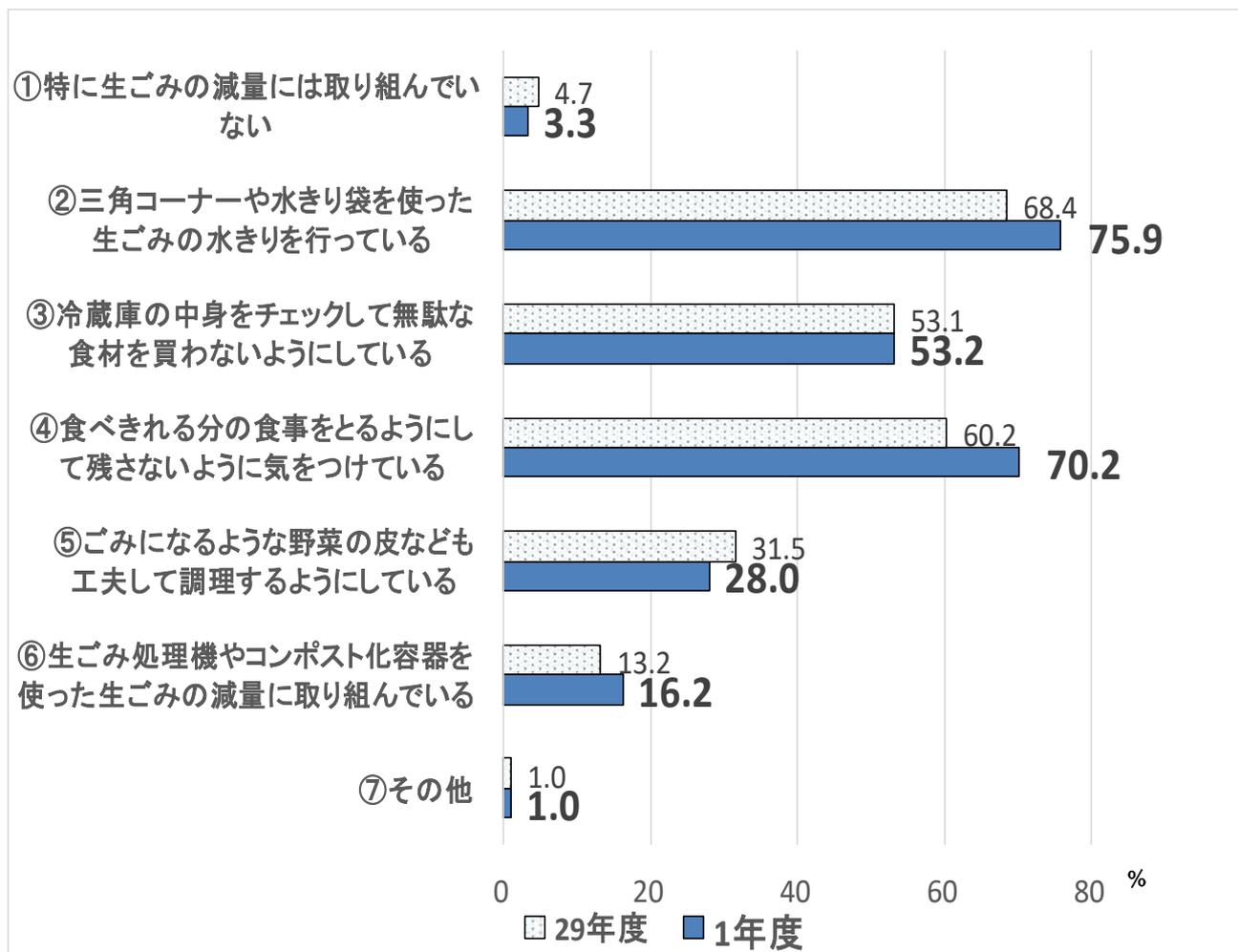
問4 「かつしかルール」として、「雑紙（ざつがみ）の分別」を呼び掛けています。新聞・段ボール・雑誌・牛乳パックと同様に、リサイクルできる紙類である「雑紙（ざつがみ）」を資源回収に出していますか。【有効回答数 2,637】



※平成30年度はアンケート項目が違ったため、含めていない。

6割を超える方が雑紙（ざつがみ）を積極的に資源回収に出していただいている。6割という割合は「かつしかルール」の認知度とほぼ同じである。雑紙の分別も含め、ごみの減量というテーマについて、周知が行き届いていない方、あまり関心がない方がいるものと考えられるが、取組を実践してもらえるようにPR活動を行っていく必要がある。

問5 「かつしかルール」として、「生ごみの減量」を呼び掛けています。日頃から生ごみの減量に取り組んでいますか？ 【有効回答数（複数回答あり）6,236】



※平成30年度はアンケート項目が違ったため、含めていない。

「②生ごみの水きり」、「④食べ残しをしない」、「⑥生ごみ処理機を使う」など比較的手軽にできる減量方法を実践している方が多く、平成29年度と比較しても増加している。生ごみ処理機については、平成29年度から購入に対しての助成金額及び割合が引き上げられたため、利用者が増加していると考えられる。

一方で「野菜の皮などを使用した調理方法」を実践している方がまだ少ないため、聖栄大学にご協力いただいている、「食べきり・使いきりメニュー」のPRや「使いきりクッキング」講座の開催等を充実させる必要がある。

また、全く生ごみの減量に取り組んでいない方は、わずかに減少し、20人に1人の割合となっている。

2 調査等の結果を踏まえた現状の分析

区民、事業者の皆様のご協力の結果、家庭ごみ量、事業系ごみ量ともに減少傾向ではあるものの、減少量は鈍化しており、令和元年度までに目標としている数値の達成には、より一層ごみの減量、特に燃やすごみの大半を占めている「生ごみの減量」と「雑紙の資源化」に取り組む必要があると考えられます。

○生ごみの減量

ごみ減量キャンペーンのアンケートでは、「生ごみの水きり」を実践している方の割合が75%を超える結果となり、過去2年間から見ても年々増加している状況である。

今後も「生ごみの水きり」や「食材の食べきり、使いきり」をはじめとし、食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」の削減も含めて、PRを続けていくことが大切です。

○雑紙の資源化

ごみ減量キャンペーンのアンケートでは、雑紙を積極的に分別し資源に出している方が、わずかに減少している。ただし、推計値ではあるが、集積所に出されている雑誌・雑紙の量は微増しており、少しずつ区民に浸透してきていると考えられる。

区民が取り組みやすい方法を併せてPRしていくことが大切です。

○再生利用から発生抑制への意識転換

アンケート調査からもわかるように、「資源を分別し、ごみとして出さない」という「再生利用（リサイクル）」の取り組みが大切だと考えている区民の割合が最も多く、「再生利用」よりも大切な「発生抑制」や「再使用」の重要性はまだ十分に認識されていない状況にあります。

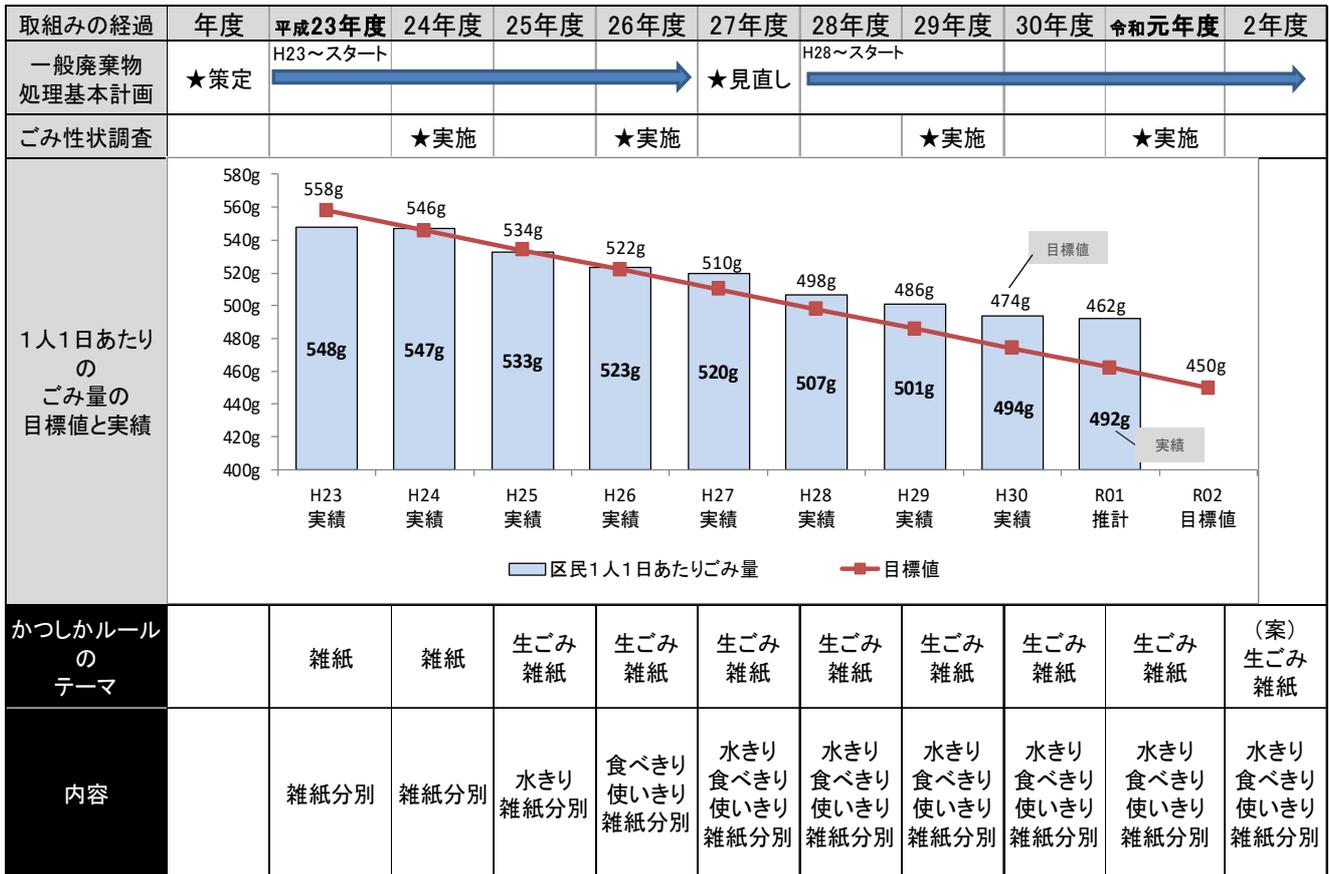
今後より一層のごみ減量を実現するためには、第一に「発生抑制」、次に「再使用」、最後に「再生利用」といった優先順位を意識した3R行動の促進を普及啓発し、実践につなげていくことが不可欠です。そこで「必要な量を買うこと」や「余計な包装を断る」といった「発生抑制」の行動を今まで以上にPRしていくことが大切です。

3 かつしかルールについて

(1) かつしかルールとは

「葛飾でごみを減量するために、これだけは実践しましょう」という取組を「かつしかルール」と位置付け、区民・事業者に対し、広く実践を呼び掛けています。テーマについては、その時々の課題をもとに、検討を行っています。

(2) 取組の経過



(3) 令和2年度のテーマについて

葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第3次）では、令和2年度までに区民1人1日あたりの家庭ごみ量を450gまで削減することを目標にしています。

令和元年度は492gまで減少する見込みですが、目標値は上回る状況になっています。今後さらにごみ量を削減し、目標を達成するためにも、引き続き生ごみの減量や雑紙の分別など、より削減効果の高いものから優先的に取り組む必要があります。

令和2年度のかつしかルール（案）

ルールその① 3つの「きり」で生ごみの減量に取り組もう

ルールその② 紙はごみじゃない！雑紙を徹底して分別し、資源にしよう

4 ごみ減量の日について

毎月5日の「ごみ減量の日」には、各団体における活動を推進し、葛飾区全域で活動を行うことにより効果的なPRを行っていきます。

(1) 令和元年度の実施内容

- ・小売店の皆さんは…容器包装の削減や簡易包装、マイバッグ利用の声掛け等を行い、ごみの発生抑制に取り組ましましょう。
- ・事業所の皆さんは…かつしかエコチャレンジへの参加等、従業員がごみの減量、資源化に取り組めるような環境作りをしていきましょう。

(2) 令和2年4月以降の実施内容（案）

◎小売店・飲食店の取組案

1	お客様にマイバッグ利用やワンウェイ（使い捨て）プラスチックの削減を呼び掛け、ごみの発生抑制に取り組ましましょう。
	家庭ごみの多くは、日頃購入されたものをはじめとして発生します。お客様にマイバッグ利用を呼びかけることでレジ袋の配布数を減らしたり、持ち帰り用のスプーンやストロー等の配布数を減らす等し、ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの削減に取り組むことで、ごみになるものの量を減らすことができます。家庭から出るごみの減量に貢献しましょう。

◎事業所の取組案

1	事業所のごみの減量・資源化に向けた従業員研修会の実施や「かつしかエコチャレンジ」への参加等で、事業系ごみの適正処理に取り組む環境作りをしましょう。
	従業員に定期的な研修を実施し、分別が一目でわかるようなごみ置き場の設置をする等、ごみの減量・資源化において、できることから始めてください。 従業員が取り組みやすいような環境作りに役立つ「事業系ごみの適正処理・減量ハンドブック」を区で作成しています。一人ひとりがごみの減量に取り組むことで、事業所全体のごみ減量につながっていきます。実践にあたっては、ぜひ「かつしかエコチャレンジ」に参加してエコ宣言しましょう。

事務局の提案の通り、小売店は「お客様にマイバッグ利用やワンウェイ（使い捨て）プラスチックの削減を呼び掛け、ごみの発生抑制に取り組ましましょう。」、事業所は「事業所のごみの減量・資源化に向けた従業員研修会の実施や「かつしかエコチャレンジ」への参加等で、事業系ごみの適正処理に取り組む環境作りをしましょう。」を「ごみ減量の日」の取組とし、PR展開を行っていくという結論になった。

5 令和元年度の取組（報告）

（1）ごみ減量月間の取組結果について

①街頭キャンペーンの実施

身近でごみの発生抑制に取り組むことができる、ごみ減量キャンペーンを15会場（下記参照）にて実施しました。会場ではごみの減量に関するアンケートの実施と協力いただいた方に、マイバッグか雑紙回収袋と再生トイレットペーパーの啓発品配布を行いました。併せて、啓発チラシの配布も行い、ごみの減量を呼びかけました。

*アンケート協力者数 2,517名

実施地区・日時・会場

地区	日時	会場
堀切	9月26日(木) 14時～	赤札堂堀切店前(堀切商店街連合会)
金町	10月 2日(水) 15時～	東急ストア金町店前
新小岩	10月 3日(木) 15時～	西友新小岩店前
柴又	10月 8日(火) 15時～	オリンピック柴又店(旧カズン柴又店)前
鎌倉	10月 9日(水) 15時～	千代田通商店会
四つ木	10月13日(日) 13時30分～	まいろーど四つ木商店街振興組合事務所前
奥戸	10月16日(水) 15時～	ライフ奥戸街道店前
新小岩	10月19日(土) 15時～	みのり商店会 スーパーマルセイ隣
亀有	10月23日(水) 15時～	アリオ亀有
立石	10月25日(金) 15時～	立石仲見世共盛会 *荒天により中止
亀有	10月26日(土) 15時～	亀有駅前リリオパーク入口 (亀有地区町会自治会連合会・亀有地区商店街協議会)
お花茶屋	10月26日(土) 15時～	お花茶屋商店街振興組合 内田金物店前
高砂	10月27日(日) 12時～	高砂北公園 (高砂商店街・高砂エビス通り商店会・高砂南町商友会)
青戸	10月27日(日) 13時30分～	青戸銀座商栄会 高野医科クリニック前
金町	10月29日(火) 15時～	マルエツ金町店前
水元	11月 3日(日) 12時30分～	葛飾清掃工場(ごみ減量・清掃フェア)

②ごみ減量月間協力団体・事業者

団体	内容
葛飾区自治町会連合会	キャンペーンの従事、チラシによるPR
葛飾清掃協力会	キャンペーンの従事
葛飾東清掃協力会	キャンペーンの従事
葛飾区消費者団体連合会	キャンペーンの従事
葛飾区商店街連合会	街頭キャンペーン会場の提供 ポスター掲示・街頭放送、チラシによるPR
赤札堂堀切店	街頭キャンペーン会場の提供 ポスター掲示・店内放送
東急ストア金町店	
西友新小岩店	
オリンピック柴又店(旧カズン柴又店)	
ライフ奥戸街道店	
アリオ亀有	
マルエツ金町店	
森永乳業株式会社	みのり商店会街頭キャンペーン参加者への パック飲料の提供
葛飾エフエム放送株式会社	PR放送
京成電鉄株式会社	ポスター掲示
東日本旅客鉄道株式会社	

以上の団体以外の皆さんにも、ポスターの掲示や店頭放送等のご協力をいただきました。また、日本大学学生ボランティアの皆さんに各会場においてアンケート収集や啓発品の配布にご協力をいただきました。

③ごみ減量キャンペーンにおける区の実績結果

- *「広報かつしか」9月15日号やホームページ等を通じたPR
- *PRポスターの作成、掲示、配布
- *キャンペーン物品の用意、実施会場等の調整・準備

(2)「かつしかルール」の取組状況について

令和元年度は、前年度に引き続き、「雑紙を徹底して分別し、資源にする」および「生ごみの減量」を個別ルールとし、取組みを行いました。

『3つの「きり」で、生ごみの減量に取り組もう』

『紙はごみじゃない！雑紙を徹底して分別し、資源にしよう』

【推進協議会の取組】

- ①広報紙での周知（9月15日号）
広報紙において、かつしかルールの「雑紙の資源化」及び「生ごみの減量」についてPRを行った。
- ②自治町会回覧での周知（10月実施、令和2年4月予定）
自治町会連合会の自治町会回覧向けに、食品ロス削減月間と3010運動をPRしたチラシを作成し、回覧を行った。
- ③小売店・事業所などでのPR（各々10月実施、令和2年4月予定）
葛飾区商店街連合会で食品ロス削減や簡易包装やレジ袋の削減、東京商工会議所葛飾支部で生ごみの減量、資源化を呼びかける啓発チラシを作成し、会員事業者に配布した。また、商店街連合会の役員会や東京商工会議所葛飾支部の役員会に出席し、食品ロス削減を含めた啓発チラシについてPRを行った。
- ④ごみ減量キャンペーンでのPR（9月下旬～11月上旬実施）
ごみ減量キャンペーンで雑紙の分別や生ごみの減量に対する意識を調査する目的でアンケートを実施した。また参加者に啓発物品を配布し利用を呼びかけると共に、マイバッグ利用や食品ロス削減PRチラシの配布を行った。
- ⑤イベントでのPR
10月18日～20日に実施された産業フェアの推進協議会出展ブースにおいて、来場した区民に「かつしかルール」をテーマにしたクイズを実施し、雑紙の分別や生ごみの減量についてPRした。
- ⑥かつしかFMでのPR（年2回 5月、10月）
かつしかFMのスポットCMで食べきり等生ごみ減量のPRを行った。

【区の取組】

- ⑦広報紙での周知
毎月5日号の下帯にごみ減量についての一文を掲載し、PRした。
2月25日号の特集記事において「かつしかルール」の内容についてPRする。
- ⑧区のホームページ等各種媒体での周知
葛飾区のホームページの「かつしかルール」のページで生ごみの減量や雑紙の資源化に関する各種情報を掲載し、PRを行った。また、3月配布予定の資源とごみの収集カレンダーでも「かつしかルール」についてのページを作成し、生ごみの減量や雑紙の資源化などのPRを行う。
- ⑨普及啓発グッズの配布
イベント等でマイバッグ、マイボトル、折るサンド等の普及啓発グッズを配布した。
- ⑩出前講座等での周知
職員が地域や学校に出向いて実施する出前講座等で、ゲーム等を交えながら「かつしかルール」についての説明を行った。

- ⑪小・中学校保護者への周知
小学校PTA联合会のご協力のもと、「かつしかルール」についてのチラシを小学1年生の保護者に向けて配布を行うとともに、環境学習出前講座を行った。
- ⑫フードドライブの運動の推進
区内で開催されたイベント会場において、区民の方々の協力のもと、フードドライブを実施した。
- ⑬食べきり協力店事業の実施
生ごみの減量を図るため、少量メニューの提供や量り売り・ばら売りを実施する店舗を「かつしか食べきり協力店」として登録する事業を実施した。
- ⑭親子向け講座での周知
親子世代の意識啓発を促進するために、「かつしかルール」についてのチラシを配付したり、かつしかルールのDVD上映を行うとともに、食材の使い切り・食べ切りをテーマにした講座を行った。
- ⑮3010運動の推進（新規）
12月を「3010運動推進月間」として、外出時の食品ロス削減について、広報かつしか、かつしかFM、区公式ホームページなどで、取組み方法をPRした。

(3)「ごみ減量の日」の取組状況について

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、毎月5日を「ごみ減量の日」として区民、事業者それぞれの取り組むべき目標を提示し、呼びかけることにより、ごみの減量に対する活動の全区的な広がりを図っています。

令和元年4月から令和2年3月までの取組内容

区民	冷蔵庫の中身をチェックする日を作り、無駄に捨ててしまう食品をなくしましょう。
事業者（小売業）	容器包装の削減や簡易包装、マイバッグ利用の声掛け等を行い、ごみの発生抑制に取り組みましょう。
事業者（事業所）	かつしかエコチャレンジへの参加等、従業員がごみの減量、資源化に取り組めるような環境作りをしていきましょう。

- ①小売店向けPR（4月、10月）
葛飾区商店街連合会で、裏面を店内に掲示でき、お客様にも取組内容をPRできるポスター形式のチラシを年2回作成し、小売店の各店舗に配布した。
- ②事業所向けPR（4月、10月）
東京商工会議所葛飾支部で、裏面を事業所内に掲示でき、取組内容をPRできるポスター形式のチラシを年2回作成し、会員に配布した。
- ③ごみ減量キャンペーンでのPR
9月下旬から11月上旬にかけて実施した「ごみ減量キャンペーン」時に、取組を呼びかける内容を含めたチラシを配布した。
- ④その他
「ごみ減量の日」を広く普及する目的で、広報かつしかやホームページ、かつしかエフエム等を利用したPRを行った。

(4) かつしかエコライフプラザにおける取組について

かつしかエコライフプラザにおいて、区内事業者の協力を得て、3Rや環境の啓発を目的としたイベントを実施していただいた。

また、かつしかエコライフプラザで開催されるイベントや講座の実施にあたっては、3R推進パートナー養成講座を受講された方で構成されている「かつしか3Rサポーターの会」にご協力いただいている。

◆令和元年度区内事業者を実施いただいたイベント

実施事業者	実施日	イベント名	実施状況
東京土建 葛飾支部	6月30日	端材でつくる モザイクタイル	端材のタイルを活用して、モザイク柄に張り付けてコースターや鍋敷きを作る
	7月20日	バランス迷路	廃材や端財を利用してバランス迷路（ビー玉迷路）を作る（小学生対象）
森永乳業 株式会社 (東京工場)	7月20日	使用済み牛乳パックによる紙すきはがき作り	牛乳パックのリサイクルについての説明後、水に溶かした使用済みの牛乳パックを紙すきして、はがきを作る（小学生と保護者対象）
株式会社 杉野ゴム 化学工業所	7月27日	リサイクルゴム工作	リサイクルゴムを型抜きし、好きな形の飾り付けをしたマイ消しゴムを作る（小学生以下対象）
北星鉛筆 株式会社	7月27日	おがくず粘土工作教室 マスコット作り	おがくず粘土（自然乾燥で固まる粘土）を企業持参の型枠に入れて造形を行う（小学生以下対象）

◆かつしか3Rサポーターの会に実施いただいた講座

実施日	講座名	実施状況
6月1日 12月7日 3月8日	かえっこバザール	おもちゃの交換会（小学生以下対象）
	洋服交換会	ベビー服、幼児服、マタニティ服の交換会
11月9日	生ごみ堆肥の講演会	全国の先進事例をふまえ、生ごみ減量の取組みをPR
8月3日 11月30日	子どもエコ工作体験	不要になったものを使用した工作等を実施
5月22日 7月17日 9月18日 11月20日 1月15日 3月18日	エコトレーニング ルーム 工作コーナー	エコトレーニングルームで、牛乳パック等を使用したエコ工作のコーナーを実施
12月14日	蜜蝋保湿クリーム講座	蜜蝋を再利用して保湿クリーム作りを行う。

※かつしかエコライフプラザ以外で実施した講座も含む

(5) マイバッグ利用促進の取組について

マイバッグを利用することでポイントを貯め、一定のポイントが貯まったら景品（古紙をリサイクルしたトイレトペーパー）を配布する取組を実施しています。

令和元年度は、昨年度に引き続きお花茶屋商店街振興組合、みのり商店会、青戸サンロード商店会で実施しています。

【お花茶屋商店街振興組合】

- ・実施時期 平成30年11月1日（木）～令和元年10月31日（木）
- ・参加店舗 約10店舗
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。30ポイントスタンプが貯まると、リー（Ree）ちゃんペーパー（ティッシュ）と交換
- ・実施状況 平成30年10月27日のごみ減量キャンペーンよりポイントカードの配布を開始し、1年間実施した。

※令和元年10月26日のごみ減量キャンペーンにて新たにポイントカードを配布済み。

【みのり商店会】

- ・実施時期 令和元年6月1日（土）～令和元年11月30日（土）
- ・参加店舗 約20店舗
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。30ポイントスタンプが貯まると、リー（Ree）ちゃんペーパー（ティッシュ）と交換
- ・実施状況 3月1日からポイントカードの配布を開始し、11月30日まで実施する。景品の交換は4月1日より実施予定。

【青戸サンロード商店会】

- ・実施時期 平成31年4月1日（月）～令和2年3月31日（火）
- ・参加店舗 約6店舗
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。30ポイントスタンプが貯まると、リー（Ree）ちゃんペーパー（ティッシュ）と交換
- ・実施状況 景品の交換は、7月20、21日（中元大売出し時の抽選日）と、12月の21、22日（歳末大売出し時の抽選日）